

教育

受信 または 投書日	事項または 題名	ご意見ご要望等	回 答	回答部署
R7.9.9	学校の水泳 授業	教育問題について質問させていただきます。まず、学生のプール授業についてですが、聞くとところによると、中学校では学校で、水泳授業をやるが、小学校では、段階的に民間のスイミングスクールに水泳授業を委託していく！と、聞いていますが現状の西尾市の水泳授業の現状はどのようになっていますか？そして、なぜ、小学生の水泳授業を民間委託にする理由を、数字をあげて詳しく教えてもらえないでしょうか？又、近隣の安城市、岡崎市、碧南市、蒲都市は、どのようになっているのでしょうか？又、西尾市はこのスポーツクラブに委託しているのですか？ 次に、課外活動のスポーツについては、西尾市では、剣道については、平坂町などの剣道場にて、剣道の課外活動をしている！と、聞いていますが、本当でしょうか？そのシステムは、どのようになっているのでしょうか？そして、その他の課外活動で、民間委託しているスポーツはあるのでしょうか？又は、やりたいと思っているスポーツがあるのでしょうか？そして、もし、やりたいスポーツがあるとしたらどこに委託するのですか？この民間委託の根拠の1つに、学校の先生の負担軽減があげられていますが、どのくらい先生の負担が軽減される予想ですか？たとえば、剣道の課外活動の顧問をしている先生の負担軽減は、どのくらいの時間数になるのでしょうか？具体的に、シュミレーションをしていると思いますので、それを聞かせてください。 最後に、小学校、中学校の先生の出退勤の把握ですが、どのような管理システムになってうるのでしょうか？まさか、先生は残業代は、一律になっているので、していない！と、いう訳ではないですよね？ 今、どこかの企業でも、従業員の健康管理の一環として、従業員の出退勤の把握を事業主に課しているところが多いと、聞いています。よってパソコンによる生体認証とか、改札機を通る時のカードとかによって、従業員の出退勤を把握しています。市役所でも、そのような仕組みをとっていると思います。 では、学校の先生は、どうなんですか？ まさか、校長に一任しているから、まったく教育委員会としては、現場の先生の出退勤は把握していない！というんじゃないですよね？ もし、本当に、そうならば、なぜ把握していないのですか？上記の残業代は、一律に一定額を支給しているから、それで良い！と、お考えでしょうか？その他に、把握しない理由があれば、教えてください。よろしくお願いします。	このたびは、教育問題について、貴重なご意見をいただきましてありがとうございます。 水泳授業の民間委託につきましては、令和5年3月に定めた「小学校プール管理運営基本方針」に基づき、全25校の小学校と義務教育学校（前期課程）の水泳授業の屋内温水プールへの移行を目指しています。令和7年度時点において、9校を民間委託しております。 民間委託する主な理由は「西尾市小学校プール全体計画」でお示していますが、小学校25校すべてのプール施設の更新・維持管理コストを、民間などの温水プールを利用した場合、50年間のライフサイクルコスト（LCC）が約35億円ほどコスト面で優れているほか、次のような多くのメリットがあるからです。 ・天候や季節に左右されることなく年間を通じて安定した水泳授業が受けられる ・専門インストラクターによる指導が受けられるため、泳力向上につながると共に、命を守るための安全水泳の充実した指導が受けられる ・授業中の安全管理・支援体制が充実している ・学校プール管理が不要となり教員の他職務従事が可能となる 次に、近隣の状況について、各市のホームページを確認したところ、岡崎市及び蒲都市は一部の学校を民間委託しており、安城市及び碧南市は民間委託していませんでした。本市の水泳授業の委託先につきましては、ドルフィンスイミングスクールとアイレクススポーツライフ株式会社です。 中学校の部活動の民間委託につきましては、現在、西尾市では行っておりません。市が委嘱している部活動指導員やボランティアの方々の協力を得ながら、担当教員とともに部活動の指導をしています。 なお、現時点において、部活動を民間委託していないことや、今後もその予定はないため、民間委託による負担軽減のシュミレーションは行っておりません。 最後に、教員の勤怠管理につきましては、全校がタイムカードとパソコンを使って行っております。教育委員会では、各校からの報告を受け、勤務状況を把握しております。	学校教育課

教育

受信 または 投書日	事項または 題名	ご意見ご要望等	回 答	回答部署
R7.5.21	小学校に冷凍庫が欲しい、おきべんを可能にして欲しい	今小学生の子供が2人います。学校から小学生まで30分以上かかります。ここ何年も夏の暑い日は熱中症が心配で、日傘、冷感アームカバー、クールネックリング、ランドセルクールパット等、毎日いかに熱中症にならずにより快適に学校への行き帰りが出来るか考えています。クールネックリングなどは冷凍庫等で冷やさない水道水の温度では正直意味がありません。行きは冷やした物を持たせられますが、帰りはどうしても冷えた物での対策が出来ません。他の学校で冷凍庫を設置したというのを目にしました。冷凍庫の設置は出来ないでしょうか？ また毎日重たい教科書、絵の具セットや習字道具、水筒2本に加え金曜日は上履きも持ち帰ってくるのでとても大変です。せめて教科書だけでも可能な限り学校に置いてほしいとして欲しいです。これも熱中症になる原因の一つかと思えます。	このたびは、登下校時の熱中症対策について、貴重なご意見をいただきましてありがとうございます。 登下校中の熱中症対策としては、各小学校においてこまめな水分補給や軽装の推奨、日傘や体を冷やす商品の使用や大きめの帽子の着用を認めるといった配慮をしておりますが、ネックリング等の保冷用具を冷やすための冷凍庫等は市内の小学校にはございません。 現時点において、保冷用具を冷やすための冷凍庫等の設置予定はございませんが、引き続き児童が安全に通学できるよう、登下校時の熱中症対策として有効な情報の収集に努めてまいります。 また、いわゆる「置き勉」につきましては、文部科学省からの通知をもとに、各校において子どもたちの成長段階に合わせて配慮をしております。 ただ、置いていく用具等の種類や持ち帰りのタイミングは、各校の判断としておりますので、ご心配な点がございましたら、学校にご相談ください。	学校教育課
R6.11.12	西尾市内中学校新制服について	令和8年度から新しいデザインの制服が導入されるというお知らせがありました。 年が離れている子どもに兄弟姉妹の制服を再利用してもらおうと思っていましたがそれができず、また一式買い揃える必要があるので金銭的な負担が大きいです。夏服と冬服を合わせると、かなり高額でした。 デザインや機能性を考えてもらえるのはありがたいですが、制服は高額なので、一部の家庭にはかなり負担があります。5年の経過措置があっても兄弟姉妹がいない子は新しい制服を買うだろうし、5年以上年齢が離れている場合は不利です。 負担軽減措置を考えていただけると、子どもが複数いる家庭にはありがたいです。補助金など、至急検討をお願いします。	このたびは、中学校の新制服導入について、貴重なご意見をいただきありがとうございます。 新制服購入に対する補助制度創設のご要望をいただきましたが、現在のところ創設する予定はございません。 なお、経済的理由により就学が困難なご家庭に対しましては、就学援助制度にて、新中学1年生を対象に新制服購入の支援をしております。 また、現在、中学校7校で制服のリサイクル販売を実施しており、お住いの地区の中学校においてもPTA主催で実施しています。詳細は直接学校にお問い合わせください。	学校教育課

教育

受信 または 投書日	事項または 題名	ご意見ご要望等	回 答	回答部署
R6.9.26	小学校区再編	つくしが丘1丁目から6丁目は、三和小学校と室場小学校に校区が分かれています。少子化で子どもの人数が減っている現在、校区再編等は検討していますか。	このたびは、校区の再編について、貴重なご意見をいただきありがとうございます。 校区については、道路や河川等の地理的状況、地域社会がつくられてきた歴史的経緯や住民の思い等、それぞれの地域の実情を踏まえて決められております。 現時点では、つくしが丘も含め、市内全域において校区見直しの検討は行っておりませんが、今後も児童数の推移や、保護者及び地域のニーズを注視してまいります。	学校教育課
R6.9.24	矢田小学校の授業参観について	矢田小学校の授業参観で矢田保育園の第2駐車場を使用している保護者がいましたが、矢田小学校と矢田保育園はそのことを把握していますか。 以前も、雨の日の送り迎えで矢田小学校の保護者が車を停めていましたが、同じことではないでしょうか。 矢田保育園駐車場の使用を禁止しているのであれば、小学校は何を管理しているのですか。市としてどのような指導をしているのですか。	このたびは、矢田保育園の第2駐車場の使用マナーについて、貴重なご意見をいただきありがとうございます。 授業参観当日の矢田保育園第2駐車場の使用状況について、矢田小学校及び矢田保育園に確認したところ、把握していないとのことでした。矢田小学校では、これまでも授業参観日に限らず、普段から、矢田保育園の駐車場は使用禁止であることを各家庭に連絡しております。また、ご指摘いただいた授業参観当日につきましても、車での来校は原則禁止とし、徒歩または自転車での来校をメール等で複数回呼びかけております。 今後同じことが起きないよう、引き続き粘り強く各家庭に呼びかけるよう、矢田小学校に指導いたしました。	学校教育課

教育

受信 または 投書日	事項または 題名	ご意見ご要望等	回 答	回答部署
R6.8.26	給食費無償化	愛知県では、多くの市で給食費無償化が始まっています。西尾市も給食費無償化をお願いします。 【事例】 愛知県内では、令和5年3月31日の少子化対策のたたき台で、一宮市や名古屋市中区など、いくつかの自治体で小中学校の給食費無償化が発表されました。 また、豊橋市が令和4年9月から半年間、豊田市が令和2年4月以降、安城市が令和5年9月以降、小牧市が令和6年9月以降など、さまざまな自治体で給食費の無償化が実施されています。 具体的には、犬山市では令和8年4月から小学校1、6年生と中学校3年生の給食費が無料になる予定です。また、安城市では令和5年9月以降、安城市立の小中学校に在籍する全児童生徒が給食費を支払う必要がなくなり、第3子以降の児童生徒も引き続き無料となります。 小牧市では、令和6年9月から第3子以降の小中学生が対象となり、令和7年9月からは第2子の中学生も対象となります。 以上、無償化導入をお願いします。いつ導入できるか、検討状況も含めて回答をお願いします。	日頃から教育行政にご理解をいただきまして、ありがとうございます。 ご意見のありました給食費の無償化について回答いたします。 給食費の無償化は、子育て支援施策の一つであることは認識しておりますが、現状においては、給食費の無償化よりも、子どもたちにとって楽しい授業にするために教材を充実させたり、老朽化した学校施設の整備を進めていくことを優先し、限られた財源を有効に使ってまいりたいと考えておりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。	教育庶務課
R6.7.8	学校	吉田小学校のプールの授業で裸足になり、コンクリートのところを歩くそうです。先生達は靴をはいているそうで、コンクリートには水を打ってはいえるそうですが、子供達は「熱い、熱い」と言っているそうです。 昔からだったとはいえ、今も水を打った程度で子供達に熱いところを歩かせるのは危ないです。プール際にあるプラスチックの縁はまだましですが、そこに行くのと怒られるそうです。プールに静かに落ちたりすれば危ないので理解できるのですが、なぜ、熱くなっているコンクリートに水を掛けただけでいいと思うのですか。先生たちは靴をはいているのに。 コンクリートの地面が何度になると思いますか。熱い熱いと騒ぐと怒られてしまうそうですが、熱いと思いませんか。早急に対策して改善してください。	このたびは、プール指導について大変ご心配をおかけしました。 子どもたちの安全を確保することは重要であり、熱くなったプールサイドのコンクリートを裸足で歩くことで、やけどを負うなどの危険があります。 吉田小学校の今年度のプールの授業はすでに終了しましたが、来年度からはサンダル等の着用を認める方向で検討しているとのことでした。 今後も、子どもたちのための環境改善に努めてまいります。	学校教育課

教育

受信 または 投書日	事項または 題名	ご意見ご要望等	回 答	回答部署
R6.7.4	子育て支援 および学校 行事につ いて	隣接する安城市が、小学生の給食費を無償化したと聞きました。これまでも同じような意見があったと思いますが、これでは安城市に人が流れていくのではないのでしょうか。 世の中では子育て世代について広く言及していると思いますが、西尾市の出産時の祝い金だけで、とても子育て支援だとは思えません。長く続く政策をしてもらいたいです。 自分の子供に胸を張って「西尾市は住みやすいよ」とは言えません。孫世代になったとしても、今のままだと「西尾市に住んでも子育て支援が手厚くないから、違うところに住んだほうがいい」と言ってしまうと思います。 また、運動会で子供が待機しているテントに近づかないようにテープが引かれています。子供の近くにも行けない。子供同士の写真を撮ってあげられない。こんなつまらない運動会があるのかと思いました。飲み物は足りているか、暑くはないか、とても心配になります。 なぜ保護者が子供の近くに行けないのか学校から説明もなく、終了後のアンケートなどありません。親子の意見を聞けるようにアンケートを実施し、より良い行事が運営できるようにしてください。	本市では、子育て支援に関する独自施策として、出産時の祝い金のほかに、保育園・幼稚園の給食費について3歳以上の園児の主食代を無料としています。 また、一定以上の所得がある方には月額4,500円の副食代を負担していただくところ、第3子以降の園児分については全員無料としています。 さらに、1歳児クラスにおける国の基準を上回る保育士の配置、子育ての悩みや不安を抱えている家庭に子育て経験者が無償で訪問してサポートする「ホームスタート」などの独自施策も行っています。 小中学校の給食費の無償化について回答いたします。 給食費の無償化は、子育て支援施策の一つであることは認識しておりますが、現状においては、給食費の無償化よりも、子どもたちにとって楽しい授業にするために教材を充実させたり、老朽化した学校施設の整備を進めていくことを優先し、限られた財源を有効に使ってまいりたいと考えておりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。 運動会中に子供のテントに大人が近づけないようにしている大きな理由は、子供の安全確保のためです。運動会という開かれた状況の中では、保護者以外の不審な人物が入り込んでしまう可能性があります。そのため、不審な人物が子供に接触する機会を減らすために、テープを引いたり柵を設けたりすることが通常です。 また、運動会時の児童の体調面の配慮として、担当の教職員が定期的に児童席を回り健康状態を確認するとともに、水分の補給を呼び掛けています。また、定期的に水分補給の時間を設定しています。 アンケートの実施につきましては各校の判断となりますが、お住まいの校区の学校は、今年度から全家庭対象の学校評価アンケートがあるため、そちらでご意見をお伝えいただける機会がございます。	子育て支援課 保育課 教育庶務課 学校教育課

教育

受信 または 投書日	事項または 題名	ご意見ご要望等	回 答	回答部署
R6.5.16	小 学 校 プール計画	杉浦功記議員が1年以上、再三再四、小学校プール計画の再検討を議会で指摘されていますが、令和6年3月定例会では、「見直しまたは再検証の考えは全くない」と答弁するばかりで、指摘内容に真摯に回答していません。 議員の指摘内容はもっともだと思える点が多いので、市長が、なぜ再検討及び再検証を指示しないのか教えてください。	日頃から教育行政にご理解をいただきまして、ありがとうございます。 西尾市教育委員会は、小学校プールの老朽化を背景に、令和5年3月に「西尾市小学校プール全体計画」を策定いたしました。 この計画では、「すべての小学校プールを新しくする場合」や「温水プールを新たに建設しすべての水泳指導支援を委託して通年で水泳授業を行う場合（「すべての水泳授業の温水プール移行」の場合）」などのコスト比較や、先行して温水プールで水泳授業を行っている学校の声など、様々な観点から小学校プールのあり方を検証いたしました。 検証の結果、「すべての水泳授業の温水プール移行」の場合、コスト面において一定の効果が期待できるばかりでなく、それ以上にすべての児童の学習環境の平等性を保ちつつ天候や気温に左右されることなく専門インストラクターの指導が受けられるなどの多くのメリットをすべての児童が享受することができる点を高く評価いたしました。その他、教員による学校プールの維持管理（水泳授業の期間中、常に行う水質管理など）が不要となり教員の多忙化解消にもつながることなどからも、「すべての小学校の水泳授業については速やかに『温水プールへの移行』を目指す」との「小学校プール管理運営基本方針」を示しました。 温水プールへの移行は、令和元年度から順次モデル校3校（矢田小・花ノ木小・横須賀小）において先行実施し、今年度から新たに5校（平坂小・寺津小・ハツ面小・幡豆小・東幡豆小）でも実施しており、移行をした学校の児童・保護者・教員からは、好評の声を多くいただいております。 杉浦議員のこれまでのご提案の多くは「コスト」を中心とした視点によるもので、児童・保護者・教員にとって最善の方法を幅広い視点において検討してきた教育委員会としては、残念ながら上記の基本方針を達成できるものではないと判断をいたしました。 ただし、教育委員会としては、「すべての児童が温水プール利用で得られるメリットを享受できるもので、かつ、具体性、実行性などが伴い、検討に値するものである」と判断できる提案であれば、その提案に対する検討を拒む考えはございません。そのことは、令和6年3月の一般質問に関連し、事前に教育委員会事務局職員が杉浦議員に質問の主旨を聴き取るなどした際に、教育委員会の考えとして杉浦議員にはお伝えしております。 令和6年3月定例会における杉浦議員の「西尾市小学校プール全体計画」に関する一般質問とそれに対する教育長・教育部長の答弁は、6月上旬には西尾市ホームページ（「西尾市議会」―「会議録」）でご覧いただけますし、それ以前の定例会のものもご覧いただけますので、教育委員会の考えをご理解いただけますと幸いです。	教育庶務課

教育

受信 または 投書日	事項または 題名	ご意見ご要望等	回 答	回答部署
R6.2.13	小学校給食のアレルギー対応について	4月から吉良町の小学校へ子どもが入学する予定です。 保育園の給食は、食物アレルギー対応として別メニューを出してくれていましたが、小学校の給食は代わりのメニューを出してくれないと聞きました。 また、代わりのメニューは出してくれないのに、給食費は削除されたメニュー分を差し引いてくれませんか、次のとおり対応してください。 1 小学校給食でアレルギー対応メニューを提供する 2 アレルギー対応メニューの提供が不可能であれば、削除されたメニュー分を給食費から差し引く	日ごろから教育行政にご理解をいただき、ありがとうございます。 ご質問いただきました2点について回答いたします。 1「小学校給食でアレルギー対応メニューを提供すること」について 小学校給食では、基本的には「主食(ごはん・パン・めん)」、「副食(3品程度)」、「飲用牛乳」を提供し、その他に月に数回「デザート」を提供しております。 「副食(3品程度)」につきましては、アレルギーの原因となる食材(以下「アレルゲン食材」)を除去したメニュー(以下「アレルゲン除去食」)を提供しております。 なお、お子様が入学予定の吉良町の小学校の場合は、学校給食センターで「アレルゲン食材」(28品目〔注1〕)を除去しております。 ただし、「アレルゲン除去食」を提供することができない場合がありますので、下記、〔注2〕②③をご参照ください。 「デザート」につきましては、アレルゲン食材(28品目)を除去した「アレルゲン除去食」のほか、納入業者から直接学校に配送される「乳・卵・小麦」を含むデザートの場合は、代わりに「乳・卵・小麦」のアレルゲン食材を含まないデザートを提供しております。 〔注1〕学校給食センターで除去する「アレルゲン食材」(28品目) えび、かに、小麦、そば、卵、乳、落花生、くるみ、アーモンド、あわび、いか、いくら、オレンジ、カシューナッツ、キウイフルーツ、牛肉、ごま、さけ、さば、大豆、鶏肉、バナナ、豚肉、まつたけ、もも、やまいも、りんご、ゼラチン 〔注2〕「アレルゲン除去食」を提供することができない場合(以下「無配膳」) ①「主食(ごはん、パン、めん)」がアレルゲン食材である場合 → その「主食」を無配膳 ②「副食・デザート」に含まれるアレルゲン食材(28品目)が除去できない場合 → その「副食・デザート」を無配膳	教育庶務課

教育

受信 または 投書日	事項または 題名	ご意見ご要望等	回 答	回答部署
			③「副食・デザート」にアレルギー食材(28品目)以外が使われている場合 → その「副食・デザート」を無配膳 ④ 飲用牛乳がアレルギー食材である場合 → 「飲用牛乳」を無配膳 なお、「無配膳」の場合は、代わりとなる食べ物・飲み物(豆乳など)を自宅から持参していただくことは可能です。 アレルギー対象者が多い「乳アレルギー」及び「卵アレルギー」で無配膳となるメニューの年間提供回数(令和5年度)は、次のとおりです。 ○「乳アレルギー」 ・[注2]①に該当する回数…各種パン20回 ・[注2]②に該当する回数…ハムチーズサンドフライ1回、ポテトオムレツ2回、ポテト入りチーズオムレツ1回、各種チーズ9回、大豆チョコクリーム1回 ○「卵アレルギー」 ・[注2]②に該当する回数…各種オムレツ6回、厚焼玉子1回 2「アレルギー対応メニュー提供が不可能なら、削除されたメニュー分を給食費から差し引くこと」について 「飲用牛乳」につきましては、医師の証明などの必要書類をご提出いただいた場合は提供を取り止め、提供を取り止めた日数に応じて「飲用牛乳分の代金」を学期毎に返金いたします。しかし、「飲用牛乳」以外のメニューが「無配膳」の場合は、その分の代金を給食費から差し引くことは行っておりませんので、ご理解いただきますようお願いいたします。	
R6.2.13	子ども会の 行事削減に ついて	今年から子ども会の役員になりました。持ち回りで回ってきたので仕方なくやっています。 子ども会の行事は毎月のようにあり、土日はその準備も含めてかなりの日数を取られてしまい負担が大きすぎます。もう少し、市子連から各子ども会に対して行事を削減か縮小するように言ってもらえないでしょうか。	日頃より、本市の子ども会活動に対してご理解ご協力を賜りありがとうございます。 各校区の子ども会行事等につきましては、各単位子ども会でそれぞれ決めています。市内の子ども会活動を総括する西尾市子ども会育成連絡協議会(以下「市子連」といいます。))におきましては、市子連主催の行事以外(各校区、各単位子ども会の活動)について助言はできるものの、活動の可否を決定する権限は持っておりませんので、ご理解ください。 お寄せいただきました単位子ども会の活動についてのご意見は、お名前を伏せて市子連の役員へ引き続き伝えさせていただきます。今後、市子連としての対応を役員会で検討し、定例会等の会議を通じて各校区の子ども会と情報共有できるよう依頼してまいります。	生涯学習課

教育

受信 または 投書日	事項または 題名	ご意見ご要望等	回 答	回答部署
R5.10.3	教員の働き 方改革	先日、NHKの「東海どまんなか」という番組内で、江南市の布袋小学校の働き方改革が取り上げられました。 近くの鶴城中学校では下校時に、先生方が横断歩道付近で交通指導をしているのを見かけます。西尾市でも、ぜひ先生方の働き方改革を実施してください。	西尾市内の教員の働き方について、参考資料を添付していただいたうえで、貴重なご意見をいただきありがとうございます。 いただいた資料の中にある布袋小学校の実践例も大変興味深く拝読させていただきました。ありがとうございました。 西尾市では、教員のこれまでの働き方を見直し、自らの授業を磨くとともに、その人間性や創造性を高め、子供たちに対して効果的な教育活動を行うことができるようにすることを目的としてさまざまな働き方改革を進めております。 一例として、校長会は教育委員会と連携し「働き方改革プロジェクト会議」を開催し、各課題について、話し合っています。 その成果として、市教育委員会が主催する各種会議の開催回数及び開催時間の縮減が実現できた他、市独自で採用する教科担当を増員するなど、少しずつではありますが、教員の働き方改革が進んでいます。今後も引き続き「働き方改革プロジェクト会議」の中で、検討を進めてまいります。 なお、今回いただいたご意見は、「働き方改革プロジェクト会議」にもお伝えします。	学校教育課